

須賀川市立第三中学校 三年 柏倉 圭裕
 今年も台風がやって来た。台風7号
 が日本に上陸したとニュースで報道されてい
 るのを見て僕はもう思いました。台風がまた来
 大兩、暴風による被害は大きい。そんな中で
 も特に心配されるのは、土砂災害だろう。
 日本は、世界でも有数の土砂災害の多い国
 となている。調べてみると、年に千件
 程の土砂災害が発生している。なぜ日本は
 そんなに土砂災害の発生件数が多いのか。日
 本は国土の約六割が山地であり、土砂災害の
 起こりやすい場所がたぐさである。また、梅
 雨や台風、秋雨などの季節にまたまると雨が
 大量に降るといふ特徴がある。こういう日は
 本州島の地形や地質、気象などの原因が重な
 り合うことで日本は土砂災害の発生件数が
 多いのだと分かった。
 僕は福島県の須賀川市に住んでいる
 が、土砂災害を経験した。見たことは今ま

一 本道が通れなくなり、宿泊客や従業員の人
 たちが助けを待ったことになり、その影響でふもとまでの
 流が襲った。しかし、その影響でふもとまでの
 三号による大雨で松川町にある温泉宿を土石
 た土砂災害にっいで、両親から何度か話を聞
 いたことがある。平成元年に発生した台風十
 一
 本道が通れなくなり、宿泊客や従業員の人
 たちが助けを待ったことになり、その影響でふもとまでの
 流が襲った。しかし、その影響でふもとまでの
 三号による大雨で松川町にある温泉宿を土石
 た土砂災害にっいで、両親から何度か話を聞
 いたことがある。平成元年に発生した台風十
 一
 本道が通れなくなり、宿泊客や従業員の人
 たちが助けを待ったことになり、その影響でふもとまでの
 流が襲った。しかし、その影響でふもとまでの
 三号による大雨で松川町にある温泉宿を土石
 た土砂災害にっいで、両親から何度か話を聞
 いたことがある。平成元年に発生した台風十
 一

ではないかと僕は自分なりに色々と考えてみ
 た。まず一番最初に思いついたのは、防災グ
 ーズをそろえることだ。水や非常食、懐中電
 灯などの防災グッズをまとめて防災バッグに
 入れておくことだ。いざという時にすぐ避難
 ができるし、三日の間ならなんとかなる生活
 することができる。

次に正しい知識を身につけておくことだ。
 ハザードマップを活用して避難場所や避難経
 路、危険箇所を確認しておくことだ。スム
 ーズに避難することができるだろう。また、日
 頃からこまめに、1. スを確認して情報を得
 ることも大切だ。

他にも地域の人たちで情報を交換しあっ
 り、避難訓練を行うような共助も自分自身で
 なく周りの人を助けることができるため、被
 害を減らすことにつながるが、これいくと思
 う。

また、これは土砂災害が起きた後の話にな
 り、もしも家が、現金も僕たちも簡単には
 手伝はのーつになる。コンビニや駅などの身

近名場所で行けるためオスオスだ。少量の金
 額でもいいから見か付たさせひや、てみえ保
 し。また、これは少し難しいことだから
 ニテ、ア活動などに参加するのも被災者達の
 ためになる。
 ニテ、対策や活動を行うことで、自分
 や周りの人の身を守ることにたっながたり、
 被災者を少しでも助けられることかできる。や、
 てみて損することはないので、すぐはてまや
 てみてほしい。
 土砂災害のような災害はいつ起こるか分か
 らない。予断ができるから、あくまで予断であ
 りて、急に起こるかもしれない。どうせ、大丈夫
 夫、自分には安心だ。なんだろうかつな考えをし
 ないでほしい。何かあ、てか、ては遅いのだ。
 自分の命を守るのは自分しかない。早め
 早めの行動を心がけたり、日頃から、カリ
 準備を整えておくだけで、ニカ、カ、の未来が
 変わるかもしれない。
 僕も二の作文を書きなから、土砂災害に対

する危険性や防災への意識が高まると、この
 ことも家族と話し合ったり、他にもできるこ
 とがないか探してみようと思う。

